

千葉県ユニセフ協会機関誌 ともだち



第63号

千葉県ユニセフ協会

2025年12月発行

ユニセフってなんだろう?

ユニセフ(UNICEF:国連児童基金)は、すべての子どもの命と権利を守るために、最も支援の届きにくい子どもたちを最優先に、約190の国と地域で活動しています。保健、栄養、水と衛生、教育、暴力や搾取からの保護、HIV／エイズ、緊急支援、アドボカシー(政策提言)などの支援活動を実施しています。

ユニセフのキーワード 子ども最優先

SDGsってなんだろう?

誰ひとり取り残されることなく、人類が安定してこの地球で暮らし続けることができるよう、世界のさまざまな問題を整理し、解決に向けて具体的な目標を示したのが、SDGs(持続可能な開発目標)です。

2015年に国連で採択され、国際社会は一致団結して、2030年を目指してこの目標を達成しよう、と合意しました。

SDGsのキーワード 誰ひとり取り残さない

unicef

ユニセフってなあに?

1 ユニセフは、世界中の子どもたちの命と健康を守るために活動する国連機関です。

- ユニセフの活動
- すべての子どもの 命と健康を守る
- すべての子どもに 教育を
- すべての子どもを 暴力や搾取から守る
- すべての子どもに 安全な水と衛生的な生活を
- すべての子どもに 公平な機会を



これからの世界の目標と ユニセフ

持続可能な開発目標
(Sustainable Development Goals = SDGs)

2015年、国連は2030年までに達成をめざす17の目標「持続可能な開発目標」を発表しました。誰ひとり取り残さない社会の実現をめざし、人類がこれらとの地球上で安定して暮らしていくために、世界中のすべての人びと、とくにその立場から自慢道成のたために行動することが求められています。

現在わたしたちが住む地球は、気候変動による干ばつや洪水、土地や資源をめぐる争い、また人口増加など、たくさんの問題を抱えています。とりわけ、子どもたちは厳しい状況下での生活を強いられています。ユニセフは「**子ども最優先**」として、「**誰ひとり取り残さない**」よう、子どもたちに優しい地球を残すために努力を続けていきます。



What is unicef?
unicef | for every child

What is unicef?
unicef | for every child

CONTENTS

- 1 ユニセフってなんだろう? SDGsってなんだろう?
- 2~5 ユニセフのつどい 2025
- 6~7 役員紹介 役員からのメッセージ
- 8~9 夏休み企画紹介
チャリティーコンサート
- 10~11 ユニセフ国際理解講座
- 12 ユニセフ・ラブウォーク IN 関宿城
- 13 ユニセフ教室の紹介①②
- 14~16 活動報告 ご協力ありがとうございました

INFORMATION

千葉県ユニセフ協会

月～金 10時～16時(祝祭日休み)

〒264-0029 千葉市若葉区桜木北2-26-30
コープみらい 千葉エリア桜木事務所

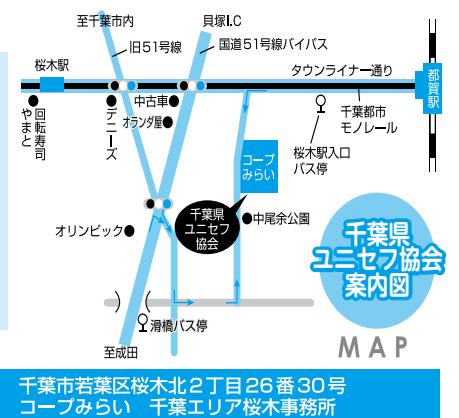
TEL : 043-226-3171
FAX : 043-226-3172

Eメール : info@unicef-chiba.jp
ホームページ : www.unicef-chiba.jp



ACCESS

★JR都賀駅東口下車 徒歩約15分
★モノレール桜木駅下車 徒歩約5分





千葉県ユニセフ協会

ユニセフのつどい2025 ～世界のみんなと手をつなごう～

10 人や国の不平等
をなくそう

9月21日(日)13:30～16:00

会 場：千葉大学けやき会館 レセプションホール

参 加 人 数：役員・来賓・ご協力者・一般参加者

ユニセフスタッフ 合計141名

ご協力者(敬称略)：東京サラヤ株式会社 江良慎也 佐藤智憲

ボッチャ 3388、市原中央高等学校インターAktクラブ

募 金 額：23,037円



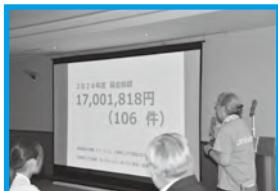
千葉大学けやき会館 レセプションホールで、役員・ご協力者・一般参加・ボランティアスタッフ含め141名の方にご参加いただき「ユニセフのつどい2025」を開催しました。設立21年目を迎えた今年の「ユニセフのつどい2025」は、県内に住む海外の方をお招きし、世代や国を超えて交流することを目的として開催しました。様々な団体の方々のご協力のお陰で20名の海外からのゲストに参加いただき、国際色豊かな「ユニセフのつどい2025」を開催することができました。



司会進行



横手会長挨拶



千葉県ユニセフ協会活動報告



東京サラヤ(株)江良様による報告



自己紹介



市原中央 高校の生徒

さんの司会で開会式を実施、横手会長挨拶につづき、千葉県ユニセフ協会2024年の活動報告を行いました。また、東京サラヤ(株)江良様からウガンダでユニセフに協力している手洗いプロジェクトの紹介などしていました。

11カ国20名の海外からのゲストのみなさんの自己紹介のあと、16のグループに分かれて交流会を実施しました。役員の皆さんに各グループの進行役をお願いし、各グループとも会話が弾んでいました。

講師として千葉市内でボッチャ指導などを行っている「ボッチャ 3388」にお越しいただきました。ボッチャの説明後、16のグループが4つのコートに分かれて総当たりでボッチャを実施しました。交流会の際は、少し硬さの残っていた参加者の皆さんも、ボッ



ボッチャ3388による説明



閉会式では、各コートの優勝グループを発表、各コートの感想を発表していただきました。侯木副会長のお礼挨拶の後、東京サラヤ様からご提供いただいたエコパックの説明がありました。多くの方にご参加・ご協力いただき、「ユニセフのつどい2025」を開催することができました。心から御礼申しあげます。千葉県ユニセフ協会は、ユニセフの活動や世界の現状を伝えながら、ユニセフの輪をこれからも広げていきたいと思います。



優勝チーム発表



— 優勝チームからひとこと —



侯木副会長お礼挨拶



東京サラヤ様から参加者全員に
エコパックを提供いただきました

参加者全員で記念撮影～楽しいひと時をご一緒しました～

参加者アンケートより

様々な国の方々と出会うことができ、私たちのグループはモンゴルの女の子とも交流して、とても嬉しかったです。また、ボッチャ体験を通してチームワークの楽しさを感じることができました。素敵なプレゼントもいただき、ありがとうございました。

外国人の人の日本人の見方がわかつてよかったです。

会場は終始にぎやかで、参加者一人ひとりの思いや活動に触れることができ、とても刺激的でした。また、子どもたちの未来のために多くの人が真剣に取り組んでいる姿に感動し、私自身も何か貢献できることを考えさせられました。

交流会でグループの雰囲気が和み、その後のボッチャではお互い声を掛け合い、より親しくなれました。大人から子どもまで楽しめるボッチャはチームの結束も強くなるのでとても楽しめました。また、ミャンマー出身の方と初めて親しくお話しできたことがとても良かったです。もっとミャンマーについて色々な事を聞きたいと思いました。

同時開催:千葉市グローバルフェスタ

- *フェアトレードミニマルシェ 11:00 ~ 16:00 1階エントランスホール
千葉大学グローバルボランティア エクマットラハンディクラフト製品の販売
千葉大学環境ISO学生委員会 ぬり絵絵本ワークショップ
フィリピン女性支援雑貨販売
土気あすみが丘フェアトレードカフェ&ショップ
PRIYO handicrafts バングラデシュのフェアトレード製品
- *千葉大生による海外スタディツアー＆ボランティア体験談 11:00 ~ 12:00
2階 会議室2
- *千葉市フェアトレード展 11:00 ~ 16:40
2階 展示ホール

主催: 千葉大学グローバルボランティア
千葉市フェアトレード推進グループ



千葉市フェアトレード展



フェアトレードミニマルシェ

「ユニセフのつどい2025」 ゲストのみなさんありがとうございました!

千葉県、綿貫国際奨学財団、千葉県国際交流センター、千葉市国際交流協会、印西市国際交流協会、麗澤大学のご紹介により、11カ国20名の方々をゲストに迎えました。身近なテーマとして好きな食べ物やご自分の国の紹介、日本に来て感じたことなどお話ししていただきました。短い時間ではありましたが、直接話を聞くことができ、大変うれしく思います。ゲストのみなさんありがとうございました。



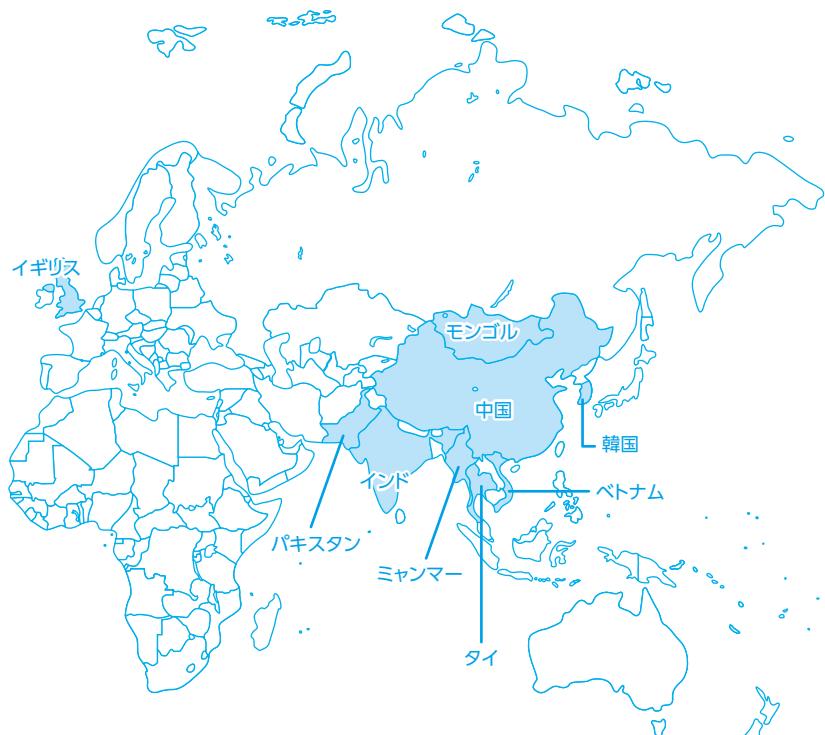
ゲストのみなさんからひとことずつ

千葉市国際交流協会

ライン ヤモン フー	ミャンマー
チャンナーモム タンヤーポーン	タイ
セン シンチョウ	中国

千葉県国際交流センター

シャルマ モヒト	インド
----------------	-----



チーバくんグローバルパートナーズ

イーグランド アデル クリストィーン	イギリス
ウェムラ ジュアン カルロス	ペルー
グエン チュン ミン ユン	ベトナム
スキャリー エリザベス	カナダ
ゼイ ヤ リン	ミャンマー
チン ファン アイン ハオ	ベトナム
ネギシ パカニラモン	タイ

綿貫国際奨学財団

ジュジューケータ	ミャンマー
ヤンジンソク	韓国
ニヤマースンデリヤ	モンゴル
サイハン	中国

印西市国際交流協会

マリー・フランス・バリル・ヤツダ	カナダ
スメラ 村松	パキスタン

麗澤大学

バットトルガ ノミニエルデネ	モンゴル
イ チャンジュン	韓国
イ ゴンヨル	韓国

「モンゴル」ニヤマースンデリヤさん、「ミャンマー」ジュジューケータさんに寄稿いただきました。

モンゴルと日本で感じた人との距離感

私の母国モンゴルは、広大な草原と美しい自然に囲まれ、古くからの遊牧文化を受け継ぎながら、首都ウランバートルなどの都市部では近代的な暮らしが取り入れた、伝統と現代が共存する国だ。人々は広大な草原のように心も広く温かく、家族や仲間とのつながりを大切にし、困っている人を見かけば頼まれる前に手を差し伸べることが自然な行動とされる。互いにあまり気を使いすぎず、自然体で接するため、初対面でも打ち解けやすく、友達になりやすいという特徴もある。

日本に来てまず感じたのは、人との距離感の違いだった。周囲に迷惑をかけないことが強く意識され、本人が望まない限り他人の問題に踏み込みすぎない文化がある。そのため、毎日顔を合わせる学校や職場の相手でも、天気や日常の話だけで会話が終わってしまうことが多い。また、日本では家族や親しい友人と話すときでさえ、一定

ニヤマースンデリヤ



モンゴルの首都・ウランバートル



モンゴル北部・フズスグル県

の距離を保っていることに気づいた。そのため、日本人と親しくなるには、ちょっとした質問ひとつでも慎重になり、「これを聞いてもいいのだろうか」「個人的な問題に踏み込みすぎてしまうのでは」と考えてしまう。モンゴルのように自然に踏み込んだ話題を出すことが難しく、親しい関係を築くには時間がかかることを実感した。

しかし、こうした距離感の文化も、多くの人が安心して暮らすための工夫のひとつだと理解できた。互いの違いを尊重し、良さを学び合うことこそ、国際交流の第一歩になるのだと思う。

日本の温もりと学びをミャンマーの未来へ繋ぐ架け橋

私はミャンマー出身で、現在は拓殖大学大学院で国際協力学を学んでおります。日本に来てまず感じたのは、街のどこも清潔で、人々が礼儀正しく、助け合いの心を大切にしていることでした。先日、ボランティア活動として日本の学校を訪問し、児童たちと



シュエダゴン・パゴダ
(ミャンマー・ヤンゴンにある有名な仏塔)



ココナツヌードル
(ミャンマーの代表的な料理)

交流する機会をいただきました。子どもたちはとても明るく、初対面でも恥ずかしがらずにたくさんの質問をしてくれました。特に驚いたのは、彼らが自分でパワーポイントを作成し、堂々と発表を行っていたことです。その姿から、日本の教育が子どもたちに自信と表現力を育てていることを実感しました。また、先生方の温かいご指導や、学びを楽しむ雰囲気にも強く感動しました。活動の最後には、児童たちが私のために自分で描いたかわいらしい絵をプレゼントしてくれました。笑顔いっぱいで手渡してくれたその絵を見たとき、胸が熱くなり、忘れられない思い出になりました。このような貴重な経験を通して、日本の教育の素晴らしいところと、人ととのつながりの大切さを改めて感じました。将来は、この経験を生かしてミャンマーの学生たちの架け橋となり、知識や学びの楽しさを広め、よりよい社会づくりに貢献したいと思っております。

ジュ ジュ キー タ



日本での卒業記念写真
(ミャンマーの民族衣装にて)



小学生の子どもたちが私のために描いてくれた心温まる手書きの絵

千葉県ユニセフ協会 役員紹介

敬称略・50音順にしております(2025年12月1日現在)

県協会役職	お名前	役職名
顧問	熊谷 俊人	千葉県知事
顧問	神谷 俊一	千葉市長
会長	横手 幸太郎	国立大学法人千葉大学学長
副会長	俣木 洋一	株式会社千葉銀行常務執行役員
常務理事	黒坂 典雄	千葉県青少年団体連絡協議会会長
常務理事	鈴木 國夫	(公財)日本ユニセフ協会顧問
理事	入江 康文	(公社)千葉県医師会会长
理事	打越 和佳子	生活協同組合コープみらい執行役員千葉県本部長
理事	大久保 利宏	敬愛大学経済学部特任教授
理事	片平 紀行	(一社)日本ボイスカウト千葉県連盟理事長
理事	小林 良記	(一社)ガールスカウト千葉県連盟連盟長
理事	佐久間 英利	(一社)千葉県商工会議所連合会会长
理事	重田 千鶴子	生活協同組合コープみらい理事
理事	染谷 光男	キッコーマン株式会社特別顧問
理事	高橋 由美子	生活協同組合パルシステム千葉理事長
理事	高橋 渉	株式会社オリエンタルランド代表取締役社長
理事	中村 耕太郎	(公財)ちば国際コンベンションピューロー代表理事
理事	中元 広之	株式会社千葉日報社代表取締役社長
理事	藤井 直樹	成田国際空港株式会社代表取締役社長
理事	松元 善一	千葉県農業協同組合中央会代表理事長
監事	金城 未来彦	千葉県弁護士会会长
監事	藤田 剛	株式会社京葉銀行取締役頭取

県協会役職	お名前	役職名
評議員	青柳 洋治	千葉テレビ放送株式会社代表取締役社長
評議員	尼崎 英之	千葉県生活協同組合連合会専務理事
評議員	生嶋 章宏	DIC株式会社 DIC川村記念美術館館長
評議員	臼坂 光二	日本放送協会千葉放送局 局長
評議員	神子 純一	千葉県中学校長会会长
評議員	神永 幸宗	中山身語正宗関東別院誓照寺副院主
評議員	川島 智	株式会社ベイエフエム専務取締役 営業本部長
評議員	坂本 雅信	千葉県漁業協同組合連合会代表理事長
評議員	島田 亮	ジェフユナイテッド株式会社代表取締役社長
評議員	高梨 祐介	千葉県高等学校長協会会长
評議員	竹内 良和	毎日新聞社千葉支局長
評議員	徳永 澄憲	麗澤大学学長
評議員	永田 稔	朝日新聞社千葉総局長
評議員	永富 博之	日本労働組合総連合会千葉県連合会会长
評議員	名雪 雅美	農事組合法人和郷園 総務部長
評議員	林 威樹	株式会社グリーンタワー代表取締役社長
評議員	原 昌志	東京新聞千葉支局長
評議員	前田 伸	株式会社マザー牧場代表取締役社長
評議員	松本 信男	イオンリテール株式会社執行役員南関東カンパニー支社長
評議員	三浦 大典	株式会社千葉ロッテマリーンズボールパーク・コミュニティ部部長
評議員	溝口 徹	読売新聞千葉支局長
評議員	美濃地 誠	株式会社ホテルオークラ東京ベイ代表取締役社長総支配人
評議員	宮崎 晶子	千葉県小学校長会会长
評議員	谷澤 健一	NPO法人谷沢野球コミュニティ柏理事長
評議員	吉野 優子	石井食品株式会社執行役員人材開発総括マネージャー
事務局長	福本 朋子	千葉県ユニセフ協会 事務局

ユニセフのつどい2025終了後、県協会 役員顔合わせ会を実施しました

9月21日(日)「ユニセフのつどい2025」終了後、(公財)日本ユニセフ協会団体・企業事業部長 谷口光様にもご同席いただき、千葉県ユニセフ協会役員顔合わせ会を実施しました。ご出席の皆さまから、つどいの感想やユニセフについてお話しいただきました。日本ユニセフ協会 谷口様から「多くの理事・評議員の参加に驚きました。感謝いたします。皆さん日本ユニセフ協会ともタッグを組んでよろしくお願ひいたします。」とのお言葉をいただきました。



役員の皆さまからは、各グループの様子や今後の「ユニセフのつどい」開催のヒントをいただき、「ナショナリズム・ポピュリズムが広がるのは、知らないことが多いからです。今日の交流会のように肌で知ることが必要。歴史に学んで新しい道を進んでいけたらと思います。」との横手会長のまとめのお言葉で閉会となりました。

役員からのメッセージ

4月より千葉県ユニセフ協会の評議員を務めています。9月に県内在住の外国人の方々と交流する「ユニセフのつどい2025」



に参加しました。チームに分かれてボッチャを楽しみましたが、言葉の壁を越えて笑顔があふれていたのが印象的でした。いま世界では、自国第一主義、排外主義が声高に叫ばれていますが、こうしたユニセフの地道な活動が国際理解の一助となることを願ってやみません。

世界の子どもたちを取り巻く状況は、今なお厳しいものがあります。ガザやスー丹といった国・地域では、紛争や避難により多くの子どもたちが命の危機にさらされ、教育や医療といった基本的な権利さえも奪われています。こうした現実に対し、ユニセフは世界約190の国と地域で活動を展開し、命を守り、権利を支える取り組みを続けています。

私たち朝日新聞社も、報道機関として紛争地域で暮らす子どもたちの現状を新聞やデジタルメディアを通じて伝え、社会の関心を高める役割を担っています。子どもたちの未来を守るため、千葉県ユニセフ協会に協力し、地域に根ざした報道を通じて支援の輪を広げていきたいと考えています。

永田 稔

千葉県ユニセフ協会の評議員を仰せつかっております株式会社グリーンタワー代表取締役の林 威樹と申します。

昨今の激動する世界情勢の中、ロシアとウクライナの長引く戦争やイスラエルとパレスチナの紛争により多くの民間人とりわけ子どもたちの負傷した姿や栄養失調でやせ細った映像が毎日のようにニュースで流れ、心を痛めています。

昔の話ですが、当社には太平洋戦争で犠牲となった戦災孤児が数名働いていました。千葉県ユニセフ協会でもお世話をになった弊社社主の林 昇志が、知人が働いていた孤児院から彼らを取り引き、父親、兄弟代わりに面倒を見つつ高度経済成長期と共に懸命に働きました。今では彼らは既に亡くなったり施設に入ったりしておりますが、当時彼らが仕事の合間に時折見せた笑顔の中に悲しい表情に私も胸が熱くなる思いがしました。

このような戦争の犠牲者である不幸な子どもたちが世界にはまだ沢山おり救いの手を求めております。千葉県ユニセフ協会の様々な活動により一人でも多くの子どもたちが幸せになるよう、(株)グリーンタワー 代表取締役 う、一員としてこれからも務めてまいりたいと思います。



林 威樹

成田空港 空の日フェスティバル2025 10月13日(祝・月) 10:30~16:00

主催:「空の日」「空の旬間」記念事業 成田地区実行委員会 募金額:2,511円

7年振りとなる「空の日フェスティバル」が開催されることとなり、千葉県ユニセフ協会でも出展をしました。

当日は台風も心配され、時折雨の降る天候でしたが、多くの方が来場されました。



SDGs輪投げ
SDGsしおり

みなさんにお配りした
SDGsしおり

赤ちゃん体重計やプランピーナッツなどの支援品や地雷のレプリカを展示、また、SDGs輪投げを実施し、参加者にはSDGsしおりをプレゼントしました。お子さまが輪投げをしている間に、保護者の方には「世界の子どもと出会う場所」のボードの「見守る、見つける、与える」のクイズに答えていただき、「いいね」と思ったかごにボールを入れていただきました。イベントを通して、SDGsやユニセフの活動・支援について参加者のみなさんとお話しでき、ユニセフの輪をひろげることができました。



“いいね”ボード

最初の〇〇日 ~見守る~

Q1 ユニセフでは赤ちゃんの栄養不良を防ぐためお母さんのおなかの中にいるときから栄養支援に力を入れています。それは何というのでしょうか

1. 最初の10日 2. 最初の100日 3. 最初の1000日

発育観察 ~見つける~

Q2 栄養不良の子どもを見つける命のメジャーと呼ばれるこのメジャーは体のどこを測るのでしょうか

1. 頭(あたま) 2. 腕(うで) 3. 足(あし)



クイズと回答

1. 150キロカロリー 2. 300キロカロリー

3. 500キロカロリー

ミラクルフード ~与える~

Q3 栄養治療食のプランピーナッツは、ひとつ何キロカロリーでしょうか

夏休み企画紹介

「夏休み ユニセフ国際理解講座」 一ルワンダの悲劇から学んだ教育の大切さー

日 時：8月4日(月)13:30～15:30 会 場：イオンモール千葉ニュータウン3階イオンホール
 主 催：千葉県ユニセフ協会 北総ブロック 後 援：印西市 印西市教育委員会 印西市国際交流協会
 協 力：イオンモール千葉ニュータウン
 参加者：59名 ユニセフスタッフ：6名 講 師：永遠瑠マリールイズ氏 募金額：34,060円



永遠瑠マリールイズ氏をお招きして、「ルワンダの悲劇から学んだ教育の大切さ」について講演をしていただきました。印西市の開催は初めてのことでしたが、夏休みということもあって、お子さんも参加してくださいました。ルワンダはアフリカの中間あたりにある小さな国です。自然が豊かで、野生のゴリラにも会えることがあるそうです。マリールイズ氏の「ルワンダ良い所ですよ、行ってみませんか?」という言葉に思わず、「そうですね」と言いたくなるような現在の様子を、映像と共にお話されました。その後、ルワンダで起きた悲劇について話を聞きました。日本で洋裁の勉強を終えてルワンダに戻るとすぐに、紛争が始まったそうです。電気がつかなくなり、情報が全く入らない中で、子ども3人を連れて隣国まで逃げるまでは、恐ろしい光景を目の当たりにしたり、怖い経験もたくさんしたことです。紛争時2歳だった娘さんは30歳を超えた今でも、日本の夏の風物詩の花火大会の打ち上げる音を聞くと、フラッシュバックしてパニックを起こしてしまうと話されていました。子どもの頃の経験が、記憶がどれほど心に影響を受けるのかと、とても心を痛めました。



質疑応答



避難先でたまたま出会った日本人医師の通訳をしたことから、再び日本で生活するようになり、日本語を学んでいたことによって命が救われたと感じたそうです。学ぶことの大切さを痛感し、ルワンダに学校を設立しました。「正しいことを正しく学ぶことは、とても大切なこと」「正しいことを学ばなければ、間違っていることをしてしまう」との言葉に共感しました。ルワンダでは今、国会議員の60%が女性で、ジェンダーギャップの少なさは世界でも上位に位置します。

夏休み親子ユニセフ講座 ボランティア体験「外国コイン仕分け」

日時：8月2日(土)10時～12時 会場：船橋市中央公民館 第2集会室
 主催：千葉県ユニセフ協会 市川船橋ブロック 参加者：17名 ユニセフスタッフ：5名

8組の親子と一般1名が参加。船橋市以外にも、我孫子市、千葉市、市川市からも参加してくださいました。去年の「夏休み切手きり企画」にも参加してくださいました。パワーポイントを使って、ユニセフについての説明と外国コインの仕分け方、



外国コインがどのようにして募金につながるのかを説明しました。コインに書かれている肖像画や動物の例を挙げて、簡単なクイズに答えてもらいました。4つのグループに分かれて、実際にコインの仕分け作業をするときは、アメリカ、オーストラリア、香港、その他に分けて作業を行いました。参加者からは、「いろんなコインがあっておもしろかった」「初めて見るお金もたくさんあった」「外国コイン募金のことを知らなかったので今回は貴重な体験になった」「どのようにして外国コインが募金につながっていくのかがわかりやすかった」などの感想をいただきました。



夏休み親子ユニセフ講座ースライム作りと手洗いの大切さを学ぼうー

日 時：7月24日(木)10時～11時30分

会 場：パレット柏 多目的スペース

主 催：千葉県ユニセフ協会 東葛ブロック 共催：東京サラヤ(株)

参加者：13名 ユニセフスタッフ：4名 東京サラヤ(株)2名

募金額：820円(ウガンダ衛生)



スライムづくり

手洗いの大切さを学ぶ講習とあわせて子どもたちが大好きなスライム作りに挑戦。親子で楽しい時間を過ごしました。

感想

- ・貴重な話を聞くことができました。水道から飲める水が出てくることを感謝することですね。
- ・子どもたちが大人になった時、今日聞くことができた話を思い出し日本だけでなく世界の人たち世界のことを考えられる大人に成長してほしいです。
- ・スライムがのびたり切れたりして楽しかったし、さわりごこちがプリンみたいでおもしろかったです。



手の洗い方を学ぶ



手洗いチェック

10月11日(土)

オーケストラを楽しむチャリティーコンサート

主 催：栄町シルバー人材センター 共催：千葉県ユニセフ協会 会場：旧酒直小学校

参加者：約70名 募金額：70,290円(ウクライナ緊急募金・ガザ人道危機緊急募金)

昨年に引き続き栄町シルバー人材センター主催、千葉県ユニセフ協会共催でチャリティーコンサートが開催されました。演奏前に20分のお時間をいただき、ウクライナ・ガザなど世界で起きている紛争について、またユニセフの活動についてお話をしました。「純ウインドオーケストラ」による心温まる演奏を聴き、多くのみなさんがウクライナやガザ地区の子どもたちに向けて、ユニセフ募金にご協力くださいました。ありがとうございました。



ウクライナ・ガザの現状についてお話ししました

純ウンドオーケストラ
オーケストラを楽しむ
チャリティーコンサート
子どもたちに平和な日々を

日 時 2025/10/11(土) 開演 14:00～
場 所 ほほみ広場(旧酒直小学校 3階 音楽室)
演 奏 純ウンドオーケストラ
入場無料



紛争

紛争下で暮らす子ども
世界に4億7000万人以上



1階ロビーにて パネル展示



純ウンドオーケストラによる演奏



ユニセフ国際理解講座

10月28日(火)千葉市生涯学習センターを会場に、ユニセフの活動について学びました。

第1部 ボランティア勉強会 13:00 ~ 14:00

参加者：13名

6月に開催された「日本ユニセフ協会主催学習会講師研修会」に参加したスタッフが講師となり、ボランティアスタッフ向けの勉強会を開催しました。また、勉強会の最後に、同席いただいた、日本ユニセフ協会の小倉様より補足説明と、ボランティア活動での注意点などをお話いただきました。

プログラム「ユニセフの支援を深掘りしよう」

- ①トイレから考える行動変容(トイレを使用することで衛生さを保つことができる)
- ②経口補水塩(ORS)(危険な脱水症状の改善)
- ③栄養治療食・治療用ミルク(栄養治療食が子どもに届くまで・ユニセフの支援について映像を交え話す)
- ④水がめと浄水剤(浄水剤の利用や、井戸を作ることで衛生的な水の利用をする)
- ⑤蚊帳について(薬剤入りの蚊帳の利用でマラリア感染の減少)
- 「感想・まとめ」日本ユニセフ協会の小倉さんより、補足説明をしていただく



第2部「ユニセフの活動について」 14:30 ~ 16:00

参加者：17名(スタッフ含む) 講 師：(公財)日本ユニセフ協会団体・企業事業部 小倉 真吾氏

(公財)日本ユニセフ協会、団体・企業事業部の小倉様を講師に迎え、ユニセフの活動についての講演会を開催しました。ユニセフ・イノチェンティ研究所の報告書「レポートカード19：予測できない世界における子どものウェルビーイング」の内容について、また、ウクライナ・ガザ・ミャンマーでの子どもたちの現状やユニセフの活動について動画を交えてお話しいただきました。支援を続けていくには、募金は大きな力になり、必要不可欠だと感じました。



ユニセフ・イノチェンティ研究所の報告書「レポートカード19：予測できない世界における子どものウェルビーイング」の内容について

ウェルビーイング=幸福度…身体的・精神的・社会的にすべての要素が満たされた、個人や社会の「よい状態」を指す概念

ウェルビーイングの構成要素…一般的に、以下の3つの側面が満たされている状態

身体的健康：

病気やけががないだけでなく、医療やヘルスケアなどにより日常生活が送れる状態。

精神的健康：

心理的な側面も含まれ、自己肯定感や、個人の置かれた状況、人間関係などによって左右される。

社会的充足感：

経済的、経済的、環境的な状況が満たされ、人や社会との良好なつながりを感じられる状態。

日本の「子どもの幸福度」

総合順位は36カ国中14位(前回における総合順位は、38カ国中20位)

総合順位は、3つの分野を総合した結果()内は前回順位

身体的健康

子どもの死亡率、過体重・肥満の子どもの割合：1位(1位)

精神的幸福度

生活満足度が高い子どもの割合、自殺率：32位(37位)

スキル

読解力・数学分野の学力、社会的スキル：12位(27位)

子どもたちの現状とユニセフの活動

ウクライナ

*3歳未満の幼い子どもたちは、生まれてから戦争しか知らない。*786の保健医療施設、1659校以上の学校が、破壊、損傷している。

*世界で最もたくさん地雷が埋められている国のひとつ(どこに埋められているのかわからない)

○ユニセフの支援

*保健と栄養の支援 *ワクチンの供給→予防接種事業の継続 *ワクチンの輸送容器 *電力がなくても冷却機能を保つ冷蔵車の提供

*冷蔵庫の調達と提供 *就学教育の援助(対面式及びオンライン学習を通じ教育の機会を提供)

ガザ

*10人に9人に当たる190万人が自宅を離れ、国内避難民になっている。人道支援が必要な330万人のうち170万人が子どもである。

*6400人以上の子どもが死亡、負傷している。飢餓の発生が起り、5歳未満の子ども全員、つまり32万人が急性栄養不良のリスクがある。

*56000人以上が、片親または両親を失った。全ての子どもがトラウマを抱え、教育がストップしている。

○ユニセフの支援

*1300台以上のトラックに、テント、栄養に関する物資の援助 *必要不可欠な医薬品を運ぶ *輸送方法など国際支援等と協力していく、物資は必ず届いている。

ミャンマー

*2025年3月28日、マグニチュード7.7の地震があり、640万人以上の子ども(国の子どもの1/3)が支援が必要。軍事政権の国なので、ユニセフや他の支援団体が政府と協力して物資を調達している。

(ユニセフニュースより)

ユニセフ国際理解講座

～紛争ジャーナリストが見た『沈みゆく国ツバル』の今～

日 時：11月9日(日)14:00～15:30

会 場：千葉市生涯学習センター地下1階小ホール

主 催：千葉県ユニセフ協会 房総ブロック

参加者：21名(スタッフ含む)

講 師：下村靖樹氏

協 力：市原中央高校インターラクトクラブ

募金額：6,675円



首都フナフティがあるフォンガファレ島(下村氏提供)

大きな内戦で大量虐殺のあったルワンダ、地下鉱物を巡り様々な国が入り込んで紛争の絶えないコンゴ民主共和国など、下村さんはアフリカの紛争を取材しているジャーナリストです。しかし、今回は紛争とは縁遠い平和な国ツバルの取材をし、ツバルの抱える問題を話してくださいました。

ツバルは南太平洋に位置する島国で、9つの環礁から構成されています。国土面積は約26平方キロメートル(東京都の品川区とほぼ同じ面積)で、太平洋と内海のラグーンに挟まれた小さな細長い国です。人口は約1万1000人、首都はフナフティ。



下村靖樹氏

☆ツバルの直面する問題

森も山もない小さな細長い国ツバルは、平均海拔が1.5～2メートルしかなく、地球温暖化による海面上昇で国が水没する危機に瀕しています。満潮時には浸水が頻繁に発生し、住宅や農地への被害が出ているそうです。農地の減少は、伝統的な作物タロイモ栽培に大きな影響を与えています。地下水に海水が浸入することにより、淡水資源が塩水化し、飲料水や農業用水の確保も困難になっています。また、温暖化による海水温の上昇や海洋環境の変化により、伝統的な漁法による漁獲量は減少しています。

ツバルは人口増加による問題も抱えています。それはゴミの問題です。狭い国土の一角に分別されていないゴミが積み上げられています(プラスチックゴミも多い)。下水処理も十分行われていないということです。ゴミや汚水は土壤汚染や水質汚染を引き起こしています。

ツバルは、これといった観光資源がないことから、観光も盛んではありません。収入源は、①海外の援助(日本も援助している)、②海外からの送金(オーストラリアなどに働きに行った家族、親戚からの送金)、③島の持つトップレベルドメイン「.tv」を海外が購入することで得るライセンス料です。国内で生活に必要な物はほとんど生産できないので、食料品、生活用品の多くは輸入品に頼っています。そのため物価は高く、人々は裕福とはいえません。

このように、ツバルは今、海面上昇により国土が水没しそうな状況である上に、土壤・水質の汚染、更に経済的な困難という大きな危機に直面しています。しかし、下村さんが出会ったそこに住む人々は、穏やかで優しかったそうです。紛争などのない、安全で安心して暮らせる国だからでしょうか。

下村さんは、同じ地球で暮らすツバルのような国の現状を、「知ることが大切だと、私たちに伝えたかったのだと思います。そして、同じ島国日本に住む私たちは、ツバルから学び、考えていかなければならぬと思いました。



ごみ処理は島しょ国にとって非常に大きな課題(下村氏提供)

参加者感想

初めて知ることばかりで驚きました。

広い視野で学ぶことが、自分自身に必要だと思っています。



気候問題は社会問題など別の問題とつながることが、よくわかりました。



私たちも、自國のみならず他国にもしっかり目を向けなければならないと思いました。
自分自身も、国際社会に、何か小さなことでも貢献しなければならないと思いました。



10月12日(日) ユニセフ・ラブウォーク IN 関宿城

10月12日(日)10時00分~13時

参加者:大人45名 子ども7名 計52名

共 催:千葉県立関宿城博物館

後 援:千葉県、野田市、野田市教育委員会

協 賛:生活協同組合コープみらい千葉県本部、(株)東京サラヤ

生活協同組合パルシステム千葉、キッコーマン(株)

協 力:船橋歩こう会、むらさきの里 野田ガイドの会

募金額:参加費23,900円と募金箱等3,427円 合計27,327円を一般募金として日本ユニセフ協会に送金しました

ご協力者:
スタッフ集合写真▶



初めての野田市でのラブウォークは、前日の雨も止み天候に恵まれたウォーキングとなりました。今回のラブウォークは、会場となった千葉県立関宿城博物館開館30周年をお祝いする「チーバくんとカッピーのせきやど探検隊」にも参加、謎を解きながら、関宿城博物館→にこにこ水辺公園→県境→本丸跡→関所跡→鈴木貫太郎記念館→関宿城まで約5キロを歩きました。各ポイントで探検隊のクイズを解き、ご協力いただいた「むらさきの里 野田ガイドの会」のみなさんから関宿について説明いただき、関開会式挨拶宿の成り立ちや歴史について学ぶことができました。また、鈴木貫太郎記念館では、鈴木貫太郎と関宿とのつながりや人となりについて学び、ユニセフからクイズを出題しました。ゴール後、ご協賛社様よりご提供いただいた参加賞・お楽しみ抽選会の賞品をお渡しして、自由解散となりました。「遠くてなかなか来られない場所だったが、今回の参加で来ることができ、関宿を知れてよかったです」との感想を多くの方から頂きました。



糸原館長挨拶



むらさきの里 野田ガイドの会



県境(千葉県・茨城県)



二次元コードを読み取り
クイズに回答



本丸跡の説明



関宿関所跡



Aグループ



Bグループ



Cグループ

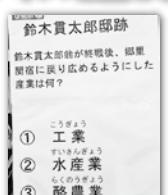


Dグループ

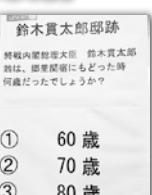
**鈴木貫太郎記念館では資料を見学、
ユニセフからクイズを出しました。**



記念館での説明



鈴木貫太郎クイズ①



鈴木貫太郎クイズ②



資料見学



鬼門除け稲荷



まもなくゴール

ご協賛ありがとうございました。

ゴール後に参加賞、お楽しみ抽選会の賞品をお渡しました

参加賞 協賛: キッコーマン(株)

参加賞として
それぞれ1つずつ
お持ち帰りください



キッコーマン



東京サラヤ



コープみらい



パルシステム千葉

ユニセフ教室の紹介① 千葉商科大学国際教養学部

「ボランティア研究」の授業の中で、そのケーススタディとして、
ユニセフの活動の様子を知り、一層の理解を深めてもらうことが目的

外国コイン 使用済み切手の仕分け

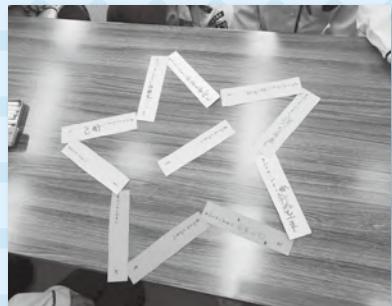


世界の子どもたちの現状とユニセフの活動の紹介。水の話、地雷の話、紛争についてなどパワーポイントによる説明を行った後、一人一人ができることとして、千葉県ユニセフ協会が行っている「ボランティア活動」のひとつである「使用済み切手の整理 外国コインの仕分け」を実施しました。本授業をきっかけに、学生たちが世界に目を向け国際協力について学ぶきっかけになればうれしいです。

ユニセフ教室の紹介② ガールスカウト千葉県連盟京葉地区

「ガールスカウトの合同集会」で広く知識を
インプットできる取り組みの企画として

ユニセフすごろく学習会が終った後で「すべての子どもは〇〇を」を短冊にしてくれました。



子どもの権利条約、水の話、蚊帳の話、紛争の話の後、ユニセフすごろくをスカウトたちが体験しました。生まれてから小学校入学するまでには、様々な困難があることをすごろくを通して学びます。本企画を通して、「母子手帳」「予防接種を受けること」「学校に行くこと」そのひとつひとつの意味を実感できたのではないでしょうか。

活動ファイル

(2025年7月8日～11月15日)

学習会・研修会一覧

訪問日	依頼者	対象	人数
7月9日(水)	成田市立平成小学校	5年生	92名
7月11日(金)	千葉商科大学国際教養学部	2～4年生	32名
7月16日(水)	コープみらい千葉県本部<ブロック委員ユニセフ学習・交流会>	大人	36名
7月25日(金)	千葉市社会福祉協議会<夏休みボランティア体験講座>	小・中学生	9名
7月31日(木)	成田市生涯大学院	大人	50名
8月1日(金)			
8月24日(日)	ガールスカウト千葉県第45団	子ども・大人	18名
9月14日(日)	さわやかしば県民プラザ	柏会場	高1～3年
9月15日(祝・月)	<高校生のためのボランティア講座>	小見川会場	高1～3年
11月9日(日)	ガールスカウト千葉県連盟京葉地区	子ども・大人	45名

主催・共催事業一覧

開催日	事業名	会場
9月21日(日)	「ユニセフのつどい2025」～世界のみんなと手をつなごう～	千葉大学けやき会館
10月11日(土)	オーケストラを楽しむチャリティーコンサート	ほほえみ広場(旧酒直小学校)
10月12日(日)	ユニセフ・ラブウォーク IN 関宿城	千葉県立関宿城博物館
10月28日(火)	ユニセフ国際理解講座「ユニセフの活動について」	千葉市生涯学習センター

ブース出展

開催日	事業名	会場
10月13日(祝・月)	空の日フェスティバル2025	NRT Central Square Popo Park

地域活動

ブロック名	開催日	イベント名	場所
東葛	7月24日(木)	夏休み親子ユニセフ講座 スライム作りと手洗いの大切さを学ぶ	パレット柏
市川・船橋	8月2日(土)	夏休み親子ユニセフ講座 ボランティア体験「外国コイン仕分け」	船橋市中央公民館
北総	8月4日(月)	夏休みユニセフ国際理解講座 「ルワンダの悲劇から学んだ教育の大切さ」	イオンモール千葉ニュータウン
房総	11月9日(日)	ユニセフ国際理解講座 下村靖樹氏講演会 ～紛争ジャーナリストが見た『沈みゆく国ツバル』の今～	千葉市生涯学習センター

ユニセフパネル展《地域活動》

展示名	開催日	会場
ユニセフによる戦後日本の子どもたちへの支援	7月25日(金)～31日(木)	イオンタウンユカリが丘
潮とともに生きる ～アグネス大使とみたキリバス、気候変動の現状～	10月25日(土)～11月4日(火) 11月8日(土)～13日(木) 11月14日(金)～23日(祝・日)	千葉市生涯学習センター ふれあいプラザさかえ 栄町シルバー人材センター

潮とともに生きる ユニセフパネル展

アグネス・チャン ユニセフ・アジア親善大使がキリバス共和国を訪問(2024年5月末～6月初旬)。気候変動の現状を見つめるパネル展が、千葉市生涯学習センターはじめ千葉県各地で開催されました。

多くの方にご覧いただき、「SDGs目標13気候変動に具体的な対策を」について考える機会となったのではないでしょうか。



千葉市生涯学習センター



ふれあいプラザさかえ



栄町シルバー人材センター

ご協力ありがとうございました

2025年6月～2025年10月

●千葉県ユニセフ協会コード番号で振り込んでいただいた方については2025年10月末まで、
県協会に直接持参していただいた方や報告を受けた方については2025年11月15日分までを掲載させていただきました。個人ご協力者のお名前の掲載は控えさせていただきました。

●一般募金

市川小学校、ガールスカウト千葉県第45団、ユニセフのつどい2025
ユニセフ・ラブウォークIN関宿城、空の日フェスティバル2025
ユニセフ国際理解講座 下村靖樹氏講演会(千葉会場)
(宗)中山身語正宗関東教区、ガールスカウト千葉県第65団

●ウガンダ衛生

夏休み親子ユニセフ教室「スライム作りと手洗い」

●ガザ緊急募金

千葉県教職員組合、(一社)栄町シルバーハウス人材センター、純ウインドオーケストラ

●ウクライナ緊急募金

(一社)栄町シルバーハウス人材センター、純ウインドオーケストラ

●アフリカ栄養危機緊急募金

マリールイズさん講演会

**使用済み切手を
届けてくださいました**



大樹生命 千葉支社様

Coco 鎌ヶ谷様

今後の予定

●ユニセフ国際理解講座

1月25日(日) 13:30～15:30 千葉市生涯学習センター 地下1階小ホール

●春のユニセフ・ラブウォーク

5月24日(日) ユニセフ・ラブウォーク IN 酒々井(しすい)

7月5日(日) ユニセフ・ラブウォーク IN 千葉公園

●ユニセフ募金について

募金種類	通信欄記入事項
通常募金	K1-120 千葉
緊急・復興募金	
ガザ人道危機	ガザ K1-120 千葉
ウクライナ	ウクライナ K1-120 千葉
自然災害	自然災害 K1-120 千葉
人道危機	人道危機 K1-120 千葉
アフリカ栄養危機	アフリカ K1-120 千葉
シリア	シリア K1-120 千葉
ロヒンギヤ難民	ロヒンギヤ K1-120 千葉

*共通振込口座

名義: 公益財団法人 日本ユニセフ協会

口座番号 00190-5-31000

*郵便局窓口から専用振込用紙を使って振り込むと手数料は免除されます。専用振込用紙は事務局にありますのでご連絡下さい。



フレンドネーション(オンライン募金)ご協力お願いします

千葉県ユニセフ協会のオンライン募金
「SDGs目標達成に向けて
～ひとりひとりがチャレンジ～」

[募金ご協力\(詳細\)はこちらから⇒](#)

日本ユニセフ協会の該当ページが開きます



日本ユニセフ協会賛助会員

会費は寄付金控除の対象になります

会員
募集中

詳しくは
こちら→



年会費は日本ユニセフ協会が行う募金活動および広報、アドボカシー(政策提言)活動のほか、千葉県ユニセフ協会をはじめとする日本ユニセフ協会と協定を結ぶ地域組織の運営にも役立てられます。有効期限は入会月から1年間です。

種類	会費
一般賛助会員(個人の方)	1口5,000円
学生賛助会員(18歳以上の方)	1口2,000円
団体賛助会員(企業・団体など)	1口100,000円

【日本ユニセフ協会賛助会員数】 2025年10月31日現在

(千葉県在住および千葉県ユニセフ協会経由でお申込みの会員さま)

一般賛助会員: 179名 学生賛助会員: 16名 団体会員: 千葉県生活協同組合連合会
大真精機(株)

千葉県ユニセフ協会 ユニセフ・ちばフレンズ (賛助会員)

2025年度会員(10月31日現在)個人: 110名 企業・団体13団体

(一社)日本ボイスカウト千葉県連盟	(一社)ガールスカウト千葉県連盟
(株)京葉銀行	(株)千葉銀行
(一社)千葉県商工会議所連合会	「小さな親切」運動ちばぎん支部
(株)グリーンタワー	日本労働組合総連合会千葉県連合会
千葉県青少年団体連絡協議会	(株)マザー牧場
ジェフユナイテッド(株)	協友工業(株)
ボイスカウト市原第1団	

種類	会費	口数
個人	2,000円(1口)	1口以上
企業・団体	2,000円(1口)	5口以上